



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月7日

上場会社名 株式会社日本動物高度医療センター 上場取引所 東  
コード番号 6039 URL http://www.jarmec.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平尾 秀博  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 石川 隆行 TEL 044 (850) 1320  
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	2,569	29.6	350	119.6	351	131.3	242	148.4
2024年3月期中間期	1,982	3.5	159	△45.5	152	△48.5	97	△50.6

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 242百万円 (148.4%) 2024年3月期中間期 97百万円 (△50.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	93.54	93.31
2024年3月期中間期	35.61	35.07

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	8,561	3,870	45.2
2024年3月期	8,770	3,811	43.5

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 3,870百万円 2024年3月期 3,811百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,820	12.9	625	25.8	625	27.6	440	30.5	169.87

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社グループは年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	2,878,200株	2024年3月期	2,858,700株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	293,416株	2024年3月期	223,816株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	2,595,877株	2024年3月期中間期	2,744,380株

(注) 自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託 (J-ESOP) 信託口が保有する当社株式が含まれております。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
3. 補足説明 .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、一部に弱い動きが見られましたが、緩やかに回復しました。鉱工業生産は、一進一退の動きとなりました。個人消費は、物価高の影響から一部に弱い動きが見られましたが、持ち直しました。設備投資は、高水準の企業収益を背景に底堅く推移しました。

当社グループが属する動物医療業界におきましては、ペットに癒しを求める動きは依然強く、高齢化したペットが抱える疾病の多様化とそれに対応するための動物医療の高度化への期待はさらに高まっております。

このような環境の中、当社グループは、“動物医療の「できない」をなくし、動物とともに生きる人の希望になる。”を使命とし、飼い主のかかりつけ病院(一次診療施設)から紹介を受け、特定の専門分野を持つ獣医師が高度な医療機器を使用して行う診療サービス(二次診療)を中心に、MRI・CTによる画像検査専門の動物検診センターの運営(画像診断サービス)及び動物の健康管理のための酸素濃縮器のレンタル・販売を展開してまいりました。また当社グループ内の診療実績を発表し、広く共有するための学会報告を積極的に行うことにより、動物医療業界における信頼の獲得と認知度の向上を図り、紹介いただく症例数等の増加に努めてまいりました。

当中間連結会計期間において、既存病院では順調に獣医師の採用が進み診療受入能力が向上したことにより、診療数は大幅に増加いたしました。

2023年6月に診療を開始した大阪病院は、診療体制が予定通り整ったことに加え、セミナー開催等により関西を中心に連携病院との関係を強化したことや、5月に稼働を開始した放射線治療施設(川崎本院に続き2施設目)が、動物への負担が少ない治療を選択したい飼い主のニーズを背景に好評であること等から、開院から12ヶ月後の2024年5月に単月黒字化を達成し、以降も順調に推移いたしました。

その結果、二次診療サービスにおきましては、初診数(新規に受け入れた症例数)は4,981件(前年同期比29.2%増)、総診療数(初診数と再診数の合計)は17,089件(前年同期比26.9%増)、手術数は1,502件(前年同期比29.8%増)となりました。また、連携病院数は4,551病院となり、前年同期から191件増加いたしました。

画像診断サービスにおきましては、引き続き一次診療施設への営業活動を強化いたしました。一部施設においてMRIを最新機種へ入れ替える工事を行い7~8月に休業したため、検査件数は前年同期比横ばいとなりました。

健康管理機器レンタル・販売におきましては、代理店との関係強化施策を継続して推進したことにより、レンタル数・販売数は前年同期比増加となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高は2,569,168千円(前年同期比29.6%増)、営業利益は350,917千円(前年同期比119.6%増)、経常利益は351,992千円(前年同期比131.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は242,840千円(前年同期比148.4%増)と増収増益となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は1,415,759千円となり、前連結会計年度末に比べ361,604千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が409,179千円減少したことによるものであります。固定資産は7,146,224千円となり、前連結会計年度末に比べ153,551千円増加いたしました。これは主に大阪病院の放射線治療棟開設による建物及び構築物の増加、建設仮勘定の減少によるものであります。

この結果、総資産は8,561,983千円となり、前連結会計年度末に比べ208,053千円減少いたしました。

##### (負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は1,337,810千円となり、前連結会計年度末に比べ200,800千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が51,197千円、1年内返済予定の長期借入金が37,488千円、賞与引当金が15,144千円増加した一方で、未払金が286,838千円減少したことによるものであります。また、固定負債は3,353,484千円となり、前連結会計年度末に比べ66,516千円減少いたしました。これは主に長期借入金78,339千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、4,691,295千円となり、前連結会計年度末に比べ267,317千円減少いたしました。

##### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は3,870,688千円となり、前連結会計年度末に比べ59,264千円増加いたしました。これは主に自己株式の取得による164,895千円の減少、及び自己株式の処分による25,188千円の増加、配当の実施による53,865千円の減少、並びに、親会社株主に帰属する中間純利益による242,840千円の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、565,255千円(前年同期比55.0%増)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益351,992千円、減価償却費264,997千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、711,840千円(前年同期比9.8%減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出688,691千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、262,594千円(前年同期は198,468千円の収入)となりました。これは主に、長期借入れによる収入300,000千円、長期借入金の返済による支出340,851千円、自己株式の取得による支出172,391千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月9日付「2024年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,337,639	928,460
売掛金及び契約資産	297,196	307,390
商品及び製品	74,873	90,929
原材料及び貯蔵品	22,481	20,678
その他	52,918	77,675
貸倒引当金	△7,745	△9,374
流動資産合計	1,777,363	1,415,759
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,125,025	2,332,867
工具、器具及び備品(純額)	1,628,363	1,737,637
土地	2,248,337	2,248,337
その他(純額)	150,096	4,784
有形固定資産合計	6,151,823	6,323,627
無形固定資産		
のれん	162,958	152,773
商標権	348,371	326,598
その他	36,752	38,350
無形固定資産合計	548,082	517,722
投資その他の資産	292,767	304,874
固定資産合計	6,992,673	7,146,224
資産合計	8,770,036	8,561,983
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	58,702	61,346
1年内返済予定の長期借入金	626,493	663,981
未払法人税等	81,149	132,347
賞与引当金	118,447	133,592
その他	653,818	346,542
流動負債合計	1,538,611	1,337,810
固定負債		
長期借入金	3,230,051	3,151,712
株式給付引当金	—	17,838
退職給付に係る負債	38,350	42,500
繰延税金負債	99,837	92,311
資産除去債務	41,394	41,622
その他	10,367	7,499
固定負債合計	3,420,001	3,353,484
負債合計	4,958,612	4,691,295
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	796,725	801,600
資本剰余金	712,128	720,405
利益剰余金	2,712,674	2,901,897
自己株式	△410,104	△553,214
株主資本合計	3,811,423	3,870,688
純資産合計	3,811,423	3,870,688
負債純資産合計	8,770,036	8,561,983

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	1,982,185	2,569,168
売上原価	1,359,036	1,678,311
売上総利益	623,149	890,856
販売費及び一般管理費	463,318	539,939
営業利益	159,831	350,917
営業外収益		
受取家賃	11,680	12,063
その他	6,468	3,307
営業外収益合計	18,149	15,370
営業外費用		
支払利息	9,320	11,884
資金調達費用	1,843	2,204
固定資産除却損	14,435	97
その他	181	108
営業外費用合計	25,781	14,295
経常利益	152,198	351,992
特別利益		
固定資産売却益	1,349	—
特別利益合計	1,349	—
税金等調整前中間純利益	153,548	351,992
法人税等	55,798	109,151
中間純利益	97,749	242,840
親会社株主に帰属する中間純利益	97,749	242,840

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	97,749	242,840
中間包括利益	97,749	242,840
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	97,749	242,840



(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	153,548	351,992
減価償却費	204,135	264,997
のれん償却額	10,184	10,184
貸倒引当金の増減額(△は減少)	406	1,629
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,354	15,144
株式給付引当金の増減額(△は減少)	—	17,838
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	450	4,150
支払利息	9,320	11,884
資金調達費用	1,843	2,204
固定資産売却益	△1,349	—
固定資産除却損	14,435	97
売上債権の増減額(△は増加)	3,645	△10,194
棚卸資産の増減額(△は増加)	16,136	△20,235
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,648	2,644
未収消費税等の増減額(△は増加)	61,432	△7,513
未払消費税等の増減額(△は減少)	84	4,124
その他	28,734	△3,693
小計	507,715	645,257
利息及び配当金の受取額	19	125
利息の支払額	△9,489	△12,131
法人税等の還付額	—	542
法人税等の支払額	△133,623	△68,536
営業活動によるキャッシュ・フロー	364,622	565,255
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△774,488	△688,691
有形固定資産の売却による収入	1,449	—
無形固定資産の取得による支出	△6,104	△7,223
敷金の差入による支出	△262	△68
保険積立金の積立による支出	△16,177	△16,501
その他	6,414	643
投資活動によるキャッシュ・フロー	△789,167	△711,840
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	489,900	300,000
長期借入金の返済による支出	△290,045	△340,851
株式の発行による収入	—	8,750
リース債務の返済による支出	△2,676	△3,647
自己株式の取得による支出	—	△172,391
自己株式の処分による収入	3,000	—
配当金の支払額	—	△52,523
その他	△1,709	△1,930
財務活動によるキャッシュ・フロー	198,468	△262,594
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△226,076	△409,179
現金及び現金同等物の期首残高	1,816,039	1,337,639
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,589,963	928,460

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、動物医療関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 補足説明

当社グループは、動物医療関連事業の単一セグメントであります。つきましては、補足情報として、主要な売上の区分についての販売実績を下記のとおり開示いたします。

(単位：千円・%)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	
	売上高	構成比	売上高	構成比
二次診療サービス	1,327,762	67.0	1,837,820	71.5
画像診断サービス	258,327	13.0	267,184	10.4
健康管理機器レンタル・販売	392,827	19.8	459,962	17.9
その他	3,268	0.2	4,200	0.2
顧客との契約から生じる収益	1,982,185	100.0	2,569,168	100.0
外部顧客への売上高	1,982,185	100.0	2,569,168	100.0

(注) グループ間の取引については相殺消去しております。